

2013年4月24日 キヤノン株式会社



2013年12月期 第1四半期 連結決算概要

本日開催の取締役会におきまして、当社の2013年12月期第1四半期(2013年1月1日から2013年3月31日まで)の連結決算を承認いたしましたので、ご報告いたします。

連結決算業績ハイライト

【第1四半期】 (3月31日に終了した3ヶ月間)

				2012年12月期 第1四半期	2013年12月期 第1四半期	増減率	2013年12月期 年間予想	増減率
				百万円	百万円	%	百万円	%
売	上		高	829, 240	816, 653	△ 1.5	3, 980, 000	+ 14.4
営	業	利	益	82, 679	54, 773	△ 33.8	450, 000	+ 39.0
税引前	方 四 半	期純利	益	92, 724	60, 255	△ 35.0	450, 000	+ 31.4
当 社 株四 半	ま 主 に 期	帰 属 す	る益	61, 538	40, 913	△ 33.5	290, 000	+ 29.1
1 株当た 四 半	り当社杉 期 純	未主に帰属 利 益	する:	円 円	円	%	円	%
基	7	K	的	51. 53	35. 49	△ 31.1	251. 56	+ 31.5
希	薄	化	後	51. 53	35. 49	△ 31.1	_	_

				2012年12月期 (2012年12月31日現在)	2013年12月期 (2013年3月31日現在)	増減率
総	資	Ť.	産	百万円 3, 955, 503	百万円 3, 934, 093	% △ 0.5
株	主	資	本	百万円 2, 598, 026	百万円 2,643,526	% + 1.8

(注) 当社の連結財務諸表は米国会計基準に基づき作成しております。



平成25年12月期 第1四半期決算短信[米国基準](連結)

(氏名) 御手洗 冨士夫

平成25年4月24日

上場会社名 キヤノン株式会社

上場取引所 東大名札福

コード番号 7751 URL http://www.canon.co.jp/ir/

代表者 (役職名)代表取締役会長兼社長 CEO

問合せ先責任者(役職名)連結経理部長 (氏名)青 山 伸 ー TEL 03-3758-2111

四半期報告書提出予定日 平成25年5月14日

配当支払開始予定日 -

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有 四半期決算説明会開催の有無 : 有

(百万円未満四捨五入)

1. 平成25年12月期第1四半期の連結業績(平成25年1月1日~平成25年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		売上高 営業利益		税引前四半期純利益		当社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年12月期第1四半期	816,653	△1.5	54,773	△33.8	60,255	△35.0	40,913	△33.5
24年12月期第1四半期	829,240	△1.2	82,679	0.2	92,724	13.0	61,538	11.0

(注)四半期包括利益 25年12月期第1四半期 128,372百万円 (△4.1%) 24年12月期第1四半期 133,927百万円 (41.5%)

	1株当たり 当社株主に帰属する 四半期純利益	希薄化後 1株当たり当社株主に帰属する 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年12月期第1四半期	35.49	35.49
24年12月期第1四半期	51.53	51.53

(2) 連結財政状態

	総資産	資本合計(純資産)	株主資本	株主資本比率
	百万円	百万円	百万円	%
25年12月期第1四半期	3,934,093	2,800,598	2,643,526	67.2
24年12月期	3,955,503	2,754,302	2,598,026	65.7

2. 配当の状況

2. 85 3 07 7(7)	年間配当金							
	第1四半期末	期末	合計					
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭			
24年12月期	_	60.00	_	70.00	130.00			
25年12月期	_							
25年12月期(予想)		_	_	_	_			

- (注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無
- 1 平成24年12月期期末配当金の内訳 普通配当60円00銭 創立75周年記念配当10円00銭
- 2 平成25年12月期の1株当たり配当金については未定です。
- 3. 平成25年12月期の連結業績予想(平成25年1月1日~平成25年12月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高	<u>-</u>	営業利	益	税引前当期	純利益	当社株主に帰 当期純和		1株当たり 当社株主に帰属する 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
第2四半期(累計)	_	_	_	_	_	_	_	_	_
通期	3,980,000	14.4	450,000	39.0	450,000	31.4	290,000	29.1	251.56

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

第2四半期連結累計期間の業績予想は行っておりません。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)

(2) 簡便な会計処理及び特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無 ② ①以外の会計方針の変更 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む) ② 期末自己株式数

25年12月期1Q	1,333,763,464 株	24年12月期	1,333,763,464 株
25年12月期1Q	180,973,218 株	24年12月期	180,972,173 株
25年12月期1Q	1,152,790,956 株	24年12月期1Q	1,194,271,942 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

③ 期中平均株式数(四半期累計)

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

尚、本資料で記述されている業績予想並びに将来予測は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が 含まれています。そのため、様々な要因の変化により、実際の業績は記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知お き下さい。業績予想の前提となる仮定等については、4ページ「1. 経営成績及び財政状態(4)通期の見通し」をご覧下さい。

目次

1.	経営	成績及び財政状態	. 2
	(1)	当四半期の概況	. 2
	(2)	事業の種類別セグメントの状況	. 3
	(3)	キャッシュ・フローの状況	. 3
	(4)	通期の見通し	. 4
2.	四半	- 期連結財務諸表	. 5
	(1)	四半期連結貸借対照表	. 5
	(2)	四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	. 6
	(3)	四半期連結売上高明細表	. 7
	(4)	四半期連結キャッシュ・フロー計算書	. 8
	(5)	継続企業の前提に関する注記	. 9
	(6)	セグメント情報	. 9
	1	事業の種類別セグメント情報	. 9
	2	所在地別セグメント情報	10
	(7)	株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	11
	(8)	四半期連結財務諸表作成の基本となる重要な事項	11

決算補足資料 (連結)

1. 経営成績及び財政状態

(1) 当四半期の概況

2013 年第1 四半期の世界経済は、昨年からの低迷状態が継続しました。米国では住宅や雇用の経済指標に改善の兆しが見られるようになりましたが、欧州では南欧諸国の債務危機再発の不安感から景気は更に減速しました。中国・インド・ロシアなどの新興国の経済は、世界経済停滞の煽りを受け低調に推移しました。わが国の経済は、個人や企業の景況感は改善に向かっておりますが、期待先行の感があり、実体経済の改善には至りませんでした。世界経済全体では、米国の景気に回復の兆しが見えるものの、全体としては低調に推移しました。

このような状況の中、当社関連市場においては、オフィス複合機の需要は景気の不透明感や新興国の経済成長の減速の影響で伸び悩み、レーザープリンターの需要は景気低迷の影響により減少しました。レンズ交換式デジタルカメラの需要は、全世界で堅調に推移しましたが、コンパクトデジタルカメラの需要は先進国・新興国ともに縮小しました。また、インクジェットプリンターの需要も欧州景気等の影響を受け全体で減少しました。産業機器の市場では、半導体露光装置の需要はメモリー向けの設備投資が抑制され、フラットパネルディスプレイ露光装置の需要は、スマートフォンやタブレットPCを中心とした中小型パネル市場が好調を維持したものの、大型パネル向けの需要は低迷しました。

当四半期の平均為替レートにつきましては、米ドルが前年同期比で約13円円安の92.76円、ユーロが前年同期比約18円円安の122.35円となりました。

当四半期の売上高は、当社が高い競争力を有するオフィス複合機やレーザープリンターにおいては総じて堅調に推移し、インクジェットプリンターが販売数量を伸ばしたことに加え、為替によるプラス影響もあったものの、コンパクトデジタルカメラや産業機器の需要の落ち込みが大きく、前年同期比 1.5%減の 8,167 億円となりました。売上総利益率は、円安の影響により、前年同期比 0.2 ポイント好転し 47.3%となりました。営業費用は、グループを挙げて徹底した経費削減活動を行いましたが、円安のため外貨建ての営業費用が円換算後で増加し、前年同期比 7.4%増の 3,311 億円となり、営業利益は前年同期比 33.8%減の 548 億円となりました。営業外収益及び費用が為替差損益等により前年同期比で 46 億円悪化したため、税引前四半期純利益は前年同期比 35.0%減の 603 億円となりました。当社株主に帰属する四半期純利益は前年同期比 33.5%減の 409 億円となりました。

基本的1株当たり当社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期に比べ16円04銭減の35円49銭となりました。

(2) 事業の種類別セグメントの状況

当四半期の業績をビジネスユニット別に概観しますと、オフィスビジネスユニットでは、imageRUNNER ADVANCE C5200/C2200 シリーズを中心にカラー機の需要が好調でしたが、米国やアジアでの景況感の悪化でモノクロ機も含めたオフィス複合機の販売台数は前年同期比で若干減少となりました。プロダクション向け複合機は、オセ社との共同開発製品である 0cé VarioPrint 135 シリーズの販売が好調に推移しました。レーザープリンターは、昨年投入した省エネ・静音化などの優れた環境性能を持つ新製品を中心に拡販に努めた結果、販売台数は前年同期比でわずかながら増加となりました。これらの結果、当ユニットの売上高は、前年同期比 6.0%増の 4,642 億円となり、営業利益は前年同期比 13.7%増の 601 億円となりました。

イメージングシステムビジネスユニットでは、レンズ交換式デジタルカメラの販売台数は前年同期比で減少となりましたが、これは前年同期にはタイの洪水の影響から市場への供給が当社に集中していたことの反動が主な理由であり、世界シェアは引き続き首位を維持しました。コンパクトデジタルカメラについては、景気低迷やスマートフォンの普及拡大などの影響により、販売台数は低価格モデルを中心に前年同期比で大きく減少しました。インクジェットプリンターは、画質などの基本性能に加え、デザイン性や操作性を向上させた製品が市場に評価され、市場が低迷する中にあっても販売台数を大きく伸ばしました。これらの結果、当ユニットの売上高は、前年同期比1.8%減の2,981億円となり、営業利益は前年同期比39.1%減の285億円となりました。

産業機器その他ビジネスユニットでは、半導体露光装置は、イメージセンサー、車載デバイス用の設備投資は堅調に推移したものの、メモリー向けの設備投資は抑制傾向が続いているため、前年同期比で販売台数が減少しました。フラットパネルディスプレイ露光装置は、当社の強みである大型パネル向け需要の低迷により、厳しい状況が続きました。これらの結果、当ユニットの売上高は前年同期比31.6%減の751億円となり、営業利益は115億円減少し、75億円の赤字となりました。

(3) キャッシュ・フローの状況

当四半期の営業キャッシュ・フローは、当社株主に帰属する四半期純利益は 206 億円の減益となりましたが、売上債権の回収増など運転資金の改善により、前年同期比で7億円の減少に留まり、554 億円の収入となりました。投資キャッシュ・フローは、設備投資を新製品対応目的などに絞り込んだことにより、前年同期から45億円減少し734億円の支出となりました。この結果、フリーキャッシュ・フローは、前年同期比で38億円増加し、180億円の赤字となりました。

一方、財務キャッシュ・フローは、配当支払いなどにより、841 億円の支出となりました。 これらの結果、当四半期末の現金及び現金同等物は、為替変動の好転分を合わせて、前期末から737 億円減少して5,930 億円となりました。

(4) 通期の見通し

第2四半期以降の世界経済は、期後半から次第に回復基調が強まっていくものと見込んでおります。米国経済は、雇用や住宅問題の改善に伴い、緩やかに回復していくものと見込まれます。 欧州経済は、南欧を中心に景気後退が長期化する見通しです。中国など新興国の経済は、個人消費の回復に伴い、徐々に力強さを取り戻すものと見込まれます。わが国の経済は、積極的な景気浮揚策の効果が強く期待されるようになってきており、期後半から回復基調を強めるものと期待されています。

当社関連市場においては、オフィス複合機の需要は世界景気の回復を背景にカラー機を中心に緩やかな回復基調となる見通しで、レーザープリンターの需要についても前年から微増となるものと見込まれます。レンズ交換式デジタルカメラの需要は、新興国市場の拡大に加え、先進国においてもユーザー層のすそ野が広がり、引き続き全地域で拡大する見通しです。コンパクトデジタルカメラの市場は、スマートフォン等の普及の影響により、低価格モデルを中心に引き続き縮小が続くと見込んでいます。インクジェットプリンターの需要は、先進国の落ち込みを新興国でカバーし、ほぼ前期レベルで推移するものと思われます。また、産業機器市場では、半導体露光装置はメモリー需給バランスの回復により、下期よりメモリー向け設備投資が回復してくると期待されています。フラットパネルディスプレイ露光装置は、大型パネル需要の回復に伴い徐々に設備投資が回復してくると見込まれます。

業績見通しの前提となる第2四半期以降の為替レートにつきましては、日銀の大胆な金融緩和政策を背景に急激な円高修正が進行していますが、欧州債務問題や米国の財政問題などの不安定な要因もありますので、米ドル95円、ユーロ125円とし、それぞれ通期の前期比で約15円の円安、約21円の円安を想定しております。

通期の連結業績見通しは、この為替レートを前提として直近の経済見通しなどを加味し、売上高3兆9,800億円(前期比14.4%増)、営業利益4,500億円(前期比39.0%増)、税引前当期純利益4,500億円(前期比31.4%増)及び当社株主に帰属する当期純利益2,900億円(前期比29.1%増)としております。

【連結業績予想】

通期(2013年1月1日~2013年12月31日)

	前回発表予想 (A)	今回修正予想 (B)	増減額 (B - A)	前期実績 (C)	増減率 (%) (B - C)/C
売上高	3, 810, 000	3, 980, 000	170, 000	3, 479, 788	14. 4%
営業利益	410, 000	450, 000	40, 000	323, 856	39. 0%
税引前当期純利益	400, 000	450,000	50,000	342, 557	31. 4%
当社株主に帰属する 当期純利益	255, 000	290, 000	35, 000	224, 564	29. 1%

2. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

	科目	2012年12月期 (2012年12月31日現在)	2013年12月期 (2013年3月31日現在)	増減
資	流 動 資 産	(2, 082, 256)	(2, 019, 999)	$(\triangle 62, 257)$
	現金及び現金同等物	666, 678	592, 992	△73, 686
	短 期 投 資	28, 322	37, 670	9, 348
	売 上 債 権	573, 375	512, 031	△61, 344
産	た な 卸 資 産	551, 623	588, 633	37,010
	前払費用及びその他の流動資産	262, 258	288, 673	26, 415
	固 定 資 産	(1, 873, 247)	(1, 914, 094)	(40, 847)
	長 期 債 権	19, 702	20, 786	1,084
\mathcal{O}	投	56, 617	56, 729	112
	有 形 固 定 資 産	1, 260, 364	1, 280, 986	20, 622
	無 形 固 定 資 産	135, 736	137, 363	1,627
	その他の資産	400, 828	418, 230	17, 402
部	資 産 合 計	3, 955, 503	3, 934, 093	△21, 410
負	流 動 負 債	(844, 435)	(767, 101)	(△77, 334)
	短期借入金及び1年以内に返済する長期債務	1,866	1,690	△176
債	買 入 債 務	325, 235	314, 144	△11,091
	未 払 法 人 税 等	60, 057	34, 435	△25, 622
77.	未 払 費 用	291, 348	277, 810	△13, 538
及	その他の流動負債	165, 929	139, 022	$\triangle 26,907$
	固 定 負 債	(356, 766)	(366, 394)	(9, 628)
び	長 期 債 務	2, 117	1,784	△333
	未 払 退 職 及 び 年 金 費 用	272, 131	277, 444	5, 313
	その他の固定負債	82, 518	87, 166	4, 648
純	負 債 合 計	(1, 201, 201)	(1, 133, 495)	(△67, 706)
	株 主 資 本	(2, 598, 026)	(2, 643, 526)	(45, 500)
	資本金	174, 762	174, 762	-
資	資 本 剰 余 金	401, 547	401, 182	△365
	利 益 剰 余 金 合 計	(3, 200, 639)	(3, 160, 868)	(△39, 771)
産	利 益 準 備 金	61, 663	62, 092	429
生	その他の利益剰余金	3, 138, 976	3, 098, 776	△40, 200
	その他の包括利益(損失)累計額	△367, 249	△281,610	85, 639
の	自 己 株 式	△811, 673	△811,676	△3
	非 支 配 持 分	156, 276	157, 072	796
	純 資 産 合 計	(2, 754, 302)	(2, 800, 598)	(46, 296)
部	負 債 及 び 純 資 産 合 計	3, 955, 503	3, 934, 093	△21, 410

		2012年12月31日	2013年3月31日
(注)	1.貸倒引当金	12, 970	13, 472
	2.減価償却累計額	2, 159, 453	2, 230, 979
	3. その他の包括利益(損失)累計額内訳		
	為替換算調整額	$\triangle 247,734$	$\triangle 162,626$
	未実現有価証券評価損益	4, 146	4, 939
	金融派生商品損益	$\triangle 4$, 462	$\triangle 3,529$
	年金債務調整額	△119, 199	△120, 394

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(単位 百万円)

科目		2012年12月 (2012年1月1 2012年3月31	日~	2013年12月月 (2013年1月1 2013年3月31	日~	増減
		金額	百分比 %	金額	百分比 %	金額
売 上	高	829, 240	100.0	816, 653	100.0	$\triangle 12,587$
売 上 原	価	438, 342	52. 9	430, 740	52. 7	△7, 602
売 上 総 利	益	390, 898	47. 1	385, 913	47. 3	△4, 985
営業費	用					
販売費及び一般管理	費	236, 188	28. 4	257, 624	31.6	21, 436
研 究 開 発	費	72, 031	8.7	73, 516	9.0	1, 485
合	計	308, 219	37. 1	331, 140	40.6	22, 921
営業利	益	82, 679	10.0	54, 773	6. 7	$\triangle 27,906$
営業外収益及び費	用					
受 取 利 息 及 び 配 当	金	1, 562		1,036		△526
支 払 利	息	△109		△105		4
その他 一純	額	8, 592		4, 551		△4, 041
合	計	10, 045	1. 2	5, 482	0.7	$\triangle 4,563$
税引前四半期純利	益	92, 724	11. 2	60, 255	7. 4	△32, 469
法 人 税	等	29, 114	3. 5	18, 528	2. 3	△10, 586
非 支 配 持 分 控 除 四 半 期 純 利	前益	63, 610	7. 7	41,727	5. 1	△21, 883
非 支 配 持 分 帰 属 損	益	2, 072	0.3	814	0.1	△1,258
当 社 株 主 に 帰 属 す 四 半 期 純 利	る益	61, 538	7. 4	40, 913	5. 0	△20, 625

(四半期連結包括利益計算書)

		\	<u> 十四 17 11 17 </u>
科目	2012年12月期 (2012年1月1日~ 2012年3月31日)	2013年12月期 (2013年1月1日~ 2013年3月31日)	増減
	金額	金額	金額
非 支 配 持 分 控 除 前 四 半 期 純 利 益	63, 610	41,727	△21, 883
その他の包括利益(損失)-税効果調整後			
為 替 換 算 調 整 額	70, 358	85, 600	15, 242
未 実 現 有 価 証 券 評 価 損 益	3, 997	1, 126	$\triangle 2,871$
金融派生商品損益	$\triangle 4,375$	935	5, 310
年 金 債 務 調 整 額	337	△1,016	$\triangle 1,353$
合計	70, 317	86, 645	16, 328
四 半 期 包 括 利 益	133, 927	128, 372	$\triangle 5,555$
非支配持分帰属四半期包括利益	2, 916	1, 628	△1, 288
当 社 株 主 に 帰 属 す る 四 半 期 包 括 利 益	131,011	126, 744	△4, 267

(3) 四半期連結売上高明細表

(単位 百万円)

区分	2012年12月 (2012年1月 2012年3月	1日~	2013年12月 (2013年1月 2013年3月	1日~	2013年12月期 2012年12月期
	金額	構成比 %	金額	構成比 %	%
オ フ ィ ス	438, 039	52.8	464, 206	56.8	106.0
イメージングシステム	303, 476	36. 6	298, 107	36. 5	98. 2
産業機器その他	109, 782	13. 2	75, 067	9. 2	68.4
消 去	$\triangle 22,057$	△2.6	△20, 727	$\triangle 2.5$	_
合 計	829, 240	100.0	816, 653	100.0	98. 5
国内	176, 875	21. 3	159, 718	19.6	90.3
海	652, 365	78. 7	656, 935	80.4	100.7
米	210, 348	25. 4	232, 002	28. 4	110.3
欧州	244, 453	29. 5	246, 365	30. 2	100.8
アジア・オセアニア	197, 564	23.8	178, 568	21.8	90. 4

(注) 1. 事業の種類別セグメントの主要製品は以下のとおりであります。

オフィスビジネスユニット:

オフィス複合機、レーザー複合機、レーザープリンター、デジタルプロダクションプリンティングシステム、 業務用高速・連帳プリンター、ワイドフォーマットプリンター、ドキュメントソリューション

イメージングシステムビジネスユニット:

レンズ交換式デジタルカメラ、コンパクトデジタルカメラ、デジタルビデオカメラ、デジタルシネマカメラ、 交換レンズ、インクジェットプリンター、大判インクジェットプリンター、業務用フォトプリンター、 イメージスキャナー、マルチメディアプロジェクター、放送機器、電卓

産業機器その他ビジネスユニット:

半導体露光装置、フラットパネルディスプレイ露光装置、デジタルラジオグラフィ、眼科機器、真空薄膜形成装置、有機ELディスプレイ製造装置、ダイボンダー、マイクロモーター、ネットワークカメラ、ハンディターミナル、ドキュメントスキャナー

2. 地域の区分に属する主な国又は地域は以下のとおりであります。

米 州:米国、カナダ、中南米諸国

欧州: イギリス、ドイツ、フランス、オランダ、欧州諸国、アフリカ・中近東諸国

アジア・オセアニア:中国、アジア諸国、オーストラリア

(4) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

	2012年12月期 (2012年1月1日~ 2012年3月31日)	2013年12月期 (2013年1月1日~ 2013年3月31日)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー		
非支配持分控除前四半期純利益	63, 610	41,727
営業活動によるキャッシュ・フローへの調整		
減価償却費	59, 873	64, 340
固定資産売廃却損	5, 699	2, 126
法人税等繰延税額	610	460
売上債権の減少	50, 816	88, 732
たな卸資産の増加	△50, 537	△7, 022
買入債務の減少	$\triangle 26,698$	$\triangle 43,565$
未払法人税等の減少	$\triangle 3,353$	△26, 212
未払費用の減少	△12,808	△26, 782
未払(前払)退職及び年金費用の増加(△減少)	121	△1, 136
その他一純額	△31, 207	△37, 254
営業活動によるキャッシュ・フロー	56, 126	55, 414
Ⅱ 投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産購入額	△77, 271	△62, 826
固定資産売却額	768	785
売却可能有価証券購入額	△75	△155
売却可能有価証券売却額及び償還額	105	1, 662
定期預金の増加ー純額	△583	△7, 408
子会社買収額 (取得現金控除後)	△704	△4, 914
投資による支払額	△103	△209
その他一純額	△12	△338
投資活動によるキャッシュ・フロー	△77, 875	△73, 403
Ⅲ 財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期債務による調達額	347	490
長期債務の返済額	$\triangle 465$	△988
短期借入金の増加(△減少)−純額	1,873	△532
配当金の支払額	$\triangle 72,092$	$\triangle 80,695$
自己株式取得一純額	$\triangle 49,992$	$\triangle 4$
その他一純額	△10, 987	△2, 332
財務活動によるキャッシュ・フロー	△131, 316	△84, 061
為替変動の現金及び現金同等物への影響額	25, 322	28, 364
現金及び現金同等物の純増減額	△127, 743	△73, 686
現金及び現金同等物の期首残高	773, 227	666, 678
現金及び現金同等物の四半期末残高	645, 484	592, 992

(5)継続企業の前提に関する注記 該当事項はありません。

(6) セグメント情報

① 事業の種類別セグメント情報

事業の種類別	セグメント情報					(単位	白力円)
		2012年12 (2012年1月 2012年3月	1日~	2013年12 (2013年1月 2013年3月	1日~	増減	
		金額	(%)	金額	(%)	金額	(%)
オフィス	1. 売上高						
	1)外部顧客向け	436, 926		462, 130		25, 204	5.8
	2)セグメント間	1, 113		2, 076		963	86. 5
	計	438, 039	100.0	464, 206	100.0	26, 167	6.0
	2. 売上原価及び営業費用	385, 193	87.9	404, 135	87.1	18, 942	4. 9
	営業利益	52, 846	12.1	60, 071	12.9	7, 225	13. 7
イメージングシステ	テム 1.売上高						
	1)外部顧客向け	303, 017		297, 927		△5, 090	△1.7
	2)セグメント間	459		180		△279	△60.8
	計	303, 476	100.0	298, 107	100.0	△5, 369	△1.8
	2. 売上原価及び営業費用	256, 742	84.6	269, 626	90.4	12, 884	5.0
	営業利益	46, 734	15. 4	28, 481	9.6	△18, 253	△39. 1
産業機器	1. 売上高						
その他	1)外部顧客向け	89, 297		56, 596		△32, 701	△36. 6
	2)セグメント間	20, 485		18, 471		△2, 014	△9.8
	計	109, 782	100.0	75, 067	100.0	△34, 715	△31.6
	2. 売上原価及び営業費用	105, 789	96. 4	82, 603	110.0	△23, 186	△21.9
	営業利益	3, 993	3.6	△7, 536	△10.0	△11,529	l
消去	1. 売上高						
又は全社	1)外部顧客向け	_		_		_	_
	2)セグメント間	△22, 057		△20, 727		1, 330	_
	計	△22, 057	_	△20, 727	_	1, 330	
	2. 売上原価及び営業費用	△1, 163	_	5, 516	_	6, 679	
	営業利益	△20, 894	_	△26, 243	_	△5, 349	l
連結	1. 売上高						
	1)外部顧客向け	829, 240		816, 653		△12, 587	$\triangle 1.5$
	2)セグメント間	_		_		_	_
	計	829, 240	100.0	816, 653	100.0	△12, 587	△1.5
	2. 売上原価及び営業費用	746, 561	90.0	761, 880	93. 3	15, 319	2. 1
	営業利益	82,679	10.0	54, 773	6.7	△27, 906	△33.8

② 所在地別セグメント情報

		2012年12 (2012年1月 2012年3月	三1月1日~ (2013年1月1日~		増	減	
		金額	(%)	金額	(%)	金額	(%)
日 本	1. 売上高						
	1)外部顧客向け	209, 215		171, 874		△37, 341	△17.8
	2)セグメント間	460, 173		425, 726		△34, 447	△7.5
	計	669, 388	100.0	597, 600	100.0	△71, 788	△10.7
	2. 売上原価及び営業費用	596, 832	89. 2	533, 827	89. 3	△63, 005	△10.6
	営業利益	72, 556	10.8	63, 773	10.7	△8, 783	△12.1
米 州	1. 売上高						
	1)外部顧客向け	207, 002		229, 375		22, 373	10.8
	2)セグメント間	5, 218		2, 578		△2, 640	△50. 6
	計	212, 220	100.0	231, 953	100.0	19, 733	9.3
	2. 売上原価及び営業費用	207, 988	98.0	228, 627	98.6	20, 639	9.9
	営業利益	4, 232	2. 0	3, 326	1.4	△906	△21.4
欧州	1. 売上高						
	1)外部顧客向け	244, 036		246, 729		2, 693	1. 1
	2)セグメント間	1,526		11, 731		10, 205	668.7
	計	245, 562	100.0	258, 460	100. 0	12, 898	5. 3
	2. 売上原価及び営業費用	234, 669	95. 6	264, 474	102. 3	29, 805	12.7
	営業利益	10, 893	4. 4	△6, 014	△2. 3	△16, 907	_
アジア・	1. 売上高						
オセアニア	1)外部顧客向け	168, 987		168, 675		△312	△0.2
	2)セグメント間	197, 206		190, 528		△6, 678	△3.4
	計	366, 193	100.0	359, 203	100.0	T	△1. 9
	2. 売上原価及び営業費用	345, 344	94. 3	345, 014	96.0		△0.1
	営業利益	20, 849	5. 7	14, 189	4.0	△6, 660	△31. 9
消去	1. 売上高						
又は全社	1)外部顧客向け	_		_		_	_
	2)セグメント間	<u> </u>		△630 , 563		33, 560	_
	計	△664 , 123	—	△630, 563	—	33, 560	1
	2. 売上原価及び営業費用	△638, 272	_	△610, 062		28, 210	_
	営業利益	△25, 851	_	△20, 501	_	5, 350	_
連結	1. 売上高	,		Í		Í	
	1)外部顧客向け	829, 240		816, 653		△12, 587	△1.5
	2)セグメント間	_		_			
	<u> </u>	829, 240	100. 0	816, 653	100. 0	△12, 587	△1.5
	2. 売上原価及び営業費用	746, 561	90. 0	761, 880	93. 3		2. 1
	営業利益	82, 679	10. 0	54, 773			∆33. 8

⁽注) 国又は地域の区分方法は地域的近接度によっております。

(7) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

- (8) 四半期連結財務諸表作成の基本となる重要な事項
- ①連結範囲及び持分法の適用に関する事項
 - 1. 連結子会社及び持分法適用関連会社の数

	2012年12月期 (2012年12月31日現在)	2013年12月期 (2013年3月31日現在)	増減
連 結 子 会 社 数	275	281	6
持分法適用関連会社数	9	9	_
合計	284	290	6

2. 異動状況

連結子会社 新規: 16社 除外: 10社

3. 連結子会社のうち、国内の証券市場に上場している会社 東証第一部:キャノンマーケティングジャパン(㈱、キャノン電子(㈱)

②主要な会計方針

当社の連結財務諸表は、米国において一般に公正妥当と認められた会計原則に基づいて作成されております。

2013年12月期 第1四半期 決算補足資料(連結)

(2013年1月1日~2013年3月31日)

目次

		貝	
1.	地域別・ビジネスユニット別売上高	補	1
2.	事業の種類別セグメント情報	補	2
3.	営業外収益及び費用	補	2
4.	ビジネスユニット内製品別売上高構成比	補	3
5.	売上高現地通貨ベース伸び率(前年同期比較)	補	3
6.	収益性	補	4
7.	為替影響	補	4
8.	キャッシュ・フロー計算書	補	4
9.	研究開発費	補	5
10.	設備投資/減価償却費	補	5
11.	たな卸資産	補	5
12.	有利子負債依存度	補	5
13.	海外生産比率	補	5
14.	従業員数	補	5

【注意事項】

本資料で記述されている業績予想並びに将来予測は、現時点で入手可能な情報に基づき当社が判断した予想であり、潜在的なリスクや不確実性が含まれています。そのため、様々な要因の変化により、実際の業績は記述されている将来見通しとは大きく異なる結果となる可能性があることをご承知おき下さい。

1. 地域別・ビジネスユニット別売上高

1. 地域別・ビンネスユニッ	<u> </u>	_			_	(単位 百万円)	
	2012年	12月期	2013年1	2月期	対前年同期増減率		
	第1四半期	年間	第1四半期	年間	fele a removal a liber	- m	
	実績	実績	実績	予想	第1四半期	年間	
国内							
オフィス	92,531	368,939	90,534	-	△2.2%	_	
イメージングシステム	42,348	213,465	40,094	_	△5.3%	_	
産業機器その他	41,996	137,882	29,090	-	△30.7%	_	
合計	176,875	720,286	159,718	730,000	△9.7%	+1.3%	
海外							
オフィス	344,395	1,383,021	371,596	-	+7.9%	_	
イメージングシステム	260,669	1,190,929	257,833	-	△1.1%	_	
産業機器その他	47,301	185,552	27,506	-	△41.8%	_	
合計	652,365	2,759,502	656,935	3,250,000	+0.7%	+17.8%	
米州							
オフィス	125,721	530,382	142,983	-	+13.7%	_	
イメージングシステム	73,537	366,888	79,474	-	+8.1%	-	
産業機器その他	11,090	42,603	9,545	-	△13.9%	-	
合計	210,348	939,873	232,002	1,110,900	+10.3%	+18.2%	
欧州							
オフィス	151,581	597,341	163,809	-	+8.1%	_	
イメージングシステム	87,458	394,612	77,570	_	△11.3%	_	
産業機器その他	5,414	22,085	4,986	_	△7.9%	_	
合計	244,453	1,014,038	246,365	1,179,400	+0.8%	+16.3%	
アジア・オセアニア							
オフィス	67,093	255,298	64,804	-	△3.4%	_	
イメージングシステム	99,674	429,429	100,789	-	+1.1%	-	
産業機器その他	30,797	120,864	12,975	_	△57.9%	_	
合計	197,564	805,591	178,568	959,700	△9.6%	+19.1%	
セグメント間の内部売上							
オフィス	1,113	5,615	2,076	-	+86.5%	_	
イメージングシステム	459	1,577	180	-	△60.8%	-	
産業機器その他	20,485	84,406	18,471	_	△9.8%	_	
消去	△22,057	△91,598	△20,727	_	-	_	
合計	0	0	0	0	-	-	
合計							
オフィス	438,039	1,757,575	464,206	2,027,400	+6.0%	+15.4%	
イメージングシステム	303,476	1,405,971	298,107	1,635,300	△1.8%	+16.3%	
産業機器その他	109,782	407,840	75,067	423,000	△31.6%	+3.7%	
消去	△22,057	△91,598	△20,727	△105,700	-	_	
合計	829,240	3,479,788	816,653	3,980,000	△1.5%	+14.4%	

2. 事業の種類別セグメント情報

(単位 百万円)

4. 事業の性類別ピグラン	1 16 48					単位 日万円)
	2012年	12月期	2013年12月期		対前年同期増減率	
	第1四半期 実績	年間実績	第1四半期 実績	年間	第1四半期	年間
オフィス						
外部顧客に対する売上高	436,926	1,751,960	462,130	2,019,100	+5.8%	+15.2%
セグメント間の内部売上高	1,113	5,615	2,076	8,300	+86.5%	+47.8%
	438,039	1,757,575	464,206	2,027,400	+6.0%	+15.4%
営業利益	52,846	203,578	60,071	272,600	+13.7%	+33.9%
営業利益率	12.1%	11.6%	12.9%	13.4%	-	_
イメージングシステム						
外部顧客に対する売上高	303,017	1,404,394	297,927	1,634,300	△1.7%	+16.4%
セグメント間の内部売上高	459	1,577	180	1,000	△60.8%	△36.6%
売上高 計	303,476	1,405,971	298,107	1,635,300	△1.8%	+16.3%
営業利益	46,734	210,318	28,481	305,900	△39.1%	+45.4%
営業利益率	15.4%	15.0%	9.6%	18.7%	-	_
産業機器その他						
外部顧客に対する売上高	89,297	323,434	56,596	326,600	△36.6%	+1.0%
セグメント間の内部売上高	20,485	84,406	18,471	96,400	△9.8%	+14.2%
売上高 計	109,782	407,840	75,067	423,000	△31.6%	+3.7%
営業利益	3,993	5,910	△7,536	△17,700	-	-
営業利益率	3.6%	1.4%	△10.0%	△4.2%	-	-
消去又は全社						
外部顧客に対する売上高	_	_	-	-	-	-
セグメント間の内部売上高	△22,057	△91,598	△20,727	△105,700	-	-
売上高 計	△22,057	△91,598	△20,727	△105,700	-	-
営業利益	△20,894	△95,950	△26,243	△110,800	-	-
 連 結						
外部顧客に対する売上高	829,240	3,479,788	816,653	3,980,000	△1.5%	+14.4%
セグメント間の内部売上高	_	_	-	-	-	_
売上高 計	829,240	3,479,788	816,653	3,980,000	△1.5%	+14.4%
営業利益	82,679	323,856	54,773	450,000	△33.8%	+39.0%
営業利益率	10.0%	9.3%	6.7%	11.3%	-	_

3. 営業外収益及び費用

	2012年12月期		2013年12月期		対前年同期増減	
	第1四半期 実績	年間 実績	第1四半期 実績	年間 予想	第1四半期	年間
金融収支	1,453	5,770	931	4,000	△522	△1,770
為替差損益	9,307	9,130	3,182	△2,200	△6,125	△11,330
持分法投資損益	465	610	△86	600	△551	△10
その他	△1,180	3,191	1,455	△2,400	+2,635	△5,591
合計	10,045	18,701	5,482	0	△4,563	△18,701

4. ビジネスユニット内製品別売上高構成比

	2012年	12月期	2013年12月期		
	第1四半期	年間	第1四半期	年間	
	実績	実績	実績	予想	
オフィス					
白黒複写機	16%	16%	16%	16%	
カラー複写機	19%	19%	19%	19%	
プリンター機器	45%	44%	43%	42%	
その他	20%	21%	22%	23%	
イメージングシステム					
カメラ	70%	70%	65%	71%	
インクジェットプリンター	21%	22%	26%	22%	
その他	9%	8%	9%	7%	
産業機器その他					
露光装置	17%	15%	9%	18%	
その他	83%	85%	91%	82%	

5. 売上高現地通貨ベース伸び率 (前年同期比較)

	2013年	2013年12月期		
	第1四半期	年間		
	実績	予想		
オフィス				
国内	△2.2%	-		
海外	△7.6%	-		
合計	△6.2%	+0.6%		
イメージングシステム				
国内	△5.3%	-		
海外	△15.3%	-		
合計	△14.0%	+0.2%		
産業機器その他				
国内	△30.7%	-		
海外	△46.7%	-		
合計	△33.7%	+0.3%		
合計				
国内	△9.7%	+1.3%		
海外	△13.5%	△0.3%		
米州	△5.4%	0.0%		
欧州	△13.9%	△3.0%		
アジア・オセアニア	△21.8%	+2.7%		
合計	△12.7%	0.0%		

6. 収益性

	2012年12月期		2012年12月期 2013年12月期		12月期
	第1四半期実績	年間実績	第1四半期実績	年間予想	
株主資本純利益率(ROE)*当社株主に帰属	9.6%	8.7%	6.2%	10.7%	
総資本純利益率(ROA)*当社株主に帰属	6.2%	5.7%	4.1%	7.1%	

7. 為替影響

(1)為替レート (単位 円)

	2012年	2012年12月期		2013年12月期	
	第1四半期実績	年間実績	第1四半期実績	第2-4四半期予想	年間予想
円/US\$	79.72	79.96	92.76	95.00	94.51
円/Euro	104.57	102.80	122.35	125.00	124.45

(2)売上影響額(前年同期比較)

(単位 億円)

(=)3===x3			
	2013年12月期		
	第1四半期実績	年間予想	
US\$	+467	+2,248	
Euro	+291	+1,661	
その他通貨	+105	+766	
合計	+863	+4,675	

(3)1円の変動による影響額

(単位 億円)

	2013年12月期
	第2-4四半期予想
売上高への影響額	
US\$	150
Euro	64
営業利益への影響額	
US\$	58
Euro	35

8. キャッシュ・フロー計算書

Se (() * -) ・				
	2012年12月期		2013年12月期	
	第1四半期実績	年間実績	第1四半期実績	年間予想
営業活動によるキャッシュ・フロー	56,126	384,077	55,414	480,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	△77,875	△212,740	△73,403	△350,000
フリーキャッシュ・フロー	△21,749	171,337	△17,989	130,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	△131,316	△319,739	△84,061	△160,000
為替変動の現金及び現金同等物への影響額	25,322	41,853	28,364	33,300
現金及び現金同等物の純増減額	△127,743	△106,549	△73,686	3,300
現金及び現金同等物の期末残高	645,484	666,678	592,992	670,000

9. 研究開発費

(単位 百万円)

(中國 目 20 F)					
	2012年12月期		2013年12月期		
	第1四半期実績	年間実績	第1四半期実績	年間予想	
オフィス	23,299	99,484	24,658	-	
イメージングシステム	19,872	83,948	20,037	_	
産業機器その他	6,220	25,635	5,814	_	
消去又は全社	22,640	87,397	23,007	_	
合計	72,031	296,464	73,516	315,000	
売上高研究開発費比率	8.7%	8.5%	9.0%	7.9%	

10. 設備投資/減価償却費

(単位 百万円)

	2012年12月期		2013年	12月期
	第1四半期実績	年間実績	第1四半期実績	年間予想
設備投資合計	73,664	270,457	50,793	260,000
減価償却費合計	59,873	258,133	64,340	265,000

11. たな卸資産

(1)期末残高

(単位 百万円)

	2012年12月期	2013年12月期	増減
	12月31日現在	3月31日現在	
オフィス	201,661	217,117	+15,456
イメージングシステム	245,973	255,807	+9,834
産業機器その他	103,989	115,709	+11,720
合計	551,623	588,633	+37,010

(2)回転日数

(単位 日)

	2012年12月期	2013年12月期	増減
	12月31日現在	3月31日現在	
オフィス	43	43	0
イメージングシステム	61	66	+5
産業機器その他	124	152	+28
合計	57	61	+4

^{*}回転日数は、直前6ヶ月の売上高に基づいて算出しています。

12. 有利子負債依存度

	2012年12月期	2013年12月期	差異
	12月31日現在	3月31日現在	
有利子負債 / 総資本	0.1%	0.1%	0.0%

13. 海外生産比率

	2012年12月期	2013年12月期
	年間実績	第1四半期実績
海外生産比率	52%	58%

14. 従業員数

(単位 人)

	2012年12月期	2013年12月期	増減
	12月31日現在	3月31日現在	
国内	70,234	69,765	△469
海外	126,734	125,214	△1,520
合計	196,968	194,979	△1,989